

第5回

# 奈良市学校部活動のあり方検討懇話会

日時：令和7年3月18日(火)

13:30～15:30

場所：奈良市役所北棟4階402会議室

## ○これまでの本市の取組事項

- ・奈良市部活動のあり方検討懇話会を設置し本市のスポーツ、文化芸術活動のあり方に関する方向性※の確認(R5より5回)
- ・アンケートにてニーズの把握(R5)
- ・モデル地域にて実証事業を実施(R6より)

※昨年度の取組から共有している方向性

- ・子どもたちの多様な種類・分野の体験・経験機会の創出をめざす。
- ・学校外での新たなスポーツ・文化芸術のコミュニティの創出をめざす。
- ・休日や放課後の生徒の活動のあり方のデザインを描く。
- ・学校の業務軽減、学校における働き方改革につなげる。

## ○本市がめざす改革の方向性

- 休日の学校部活動のあり方について
  - ✓ 令和8年度1学期より、**原則休日の学校における部活動を廃止**する。  
→ 希望する生徒及び教員は、地域クラブ等での活動へ
- 平日の部活動のあり方について
  - ✓ 「**令和9年度2学期からの原則平日の学校における部活動の廃止**」に向けた検討を行う。  
→ 放課後の新たな活動のあり方を検討、実施

## ○改革に向けた具体的な取組

- 実証事業
  - ✓ 子どもたちが地域で活動を行う上での受け皿として、運営のあり方や持続可能な仕組みについて検討する。
- 周知活動
  - ✓ シンポジウムや各所での説明会を開催し、生徒、保護者、地域等の関係者に向けて広く周知する。
  - ✓ ワークショップなどを開催し、子どもの意見も取り入れる。
  - ✓ 方向性を示しながら、広く意見を集め、改革を行った場合の活動ニーズやコストについて丁寧に把握する。

## ○ガイドライン・方針等について

- 学校部活動のあり方についての策定。(令和7年度中)
- 地域クラブ活動におけるガイドラインの策定を行う。(令和7年度中)

## 実施事業名

- ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業(地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業)
- ・文化部活動改革(地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業)

## モデル地域及び運営団体

・ならやま・高の原地区 運営団体:平城ニュータウンスポーツ協会



## 実施期間

令和6年10月から令和7年2月まで

## 実施主体:全8クラブ

スポーツ:バドミントン、剣道、少林寺拳法、軟式野球、サッカー、ダンス、太極拳と歩き方  
文化:硬筆習字

## 参加者人数

| 人数/月    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 計   |
|---------|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 参加者数(人) | 5   | 138 | 121 | 117 | 91 | 472 |

※バドミントン(41)、剣道(52)、少林寺(39)、軟式野球(164)、サッカー(140)、ダンス(36)、太極拳と歩き方(0)  
硬筆習字(0)

## 主な成果及び課題

### 【成果】

- ・運営統括団体と運営団体、運営団体と学校の連携がスムーズに行えた。
- ・子どもに向けた事業周知において一人一台端末を利用したことで、子どもたちが情報にアクセスしやすく、スポーツにおいては472名の参加があった。
- ・地域団体に事業委託したことにより、今後持続可能なあり方について検証することができた。

### 【課題】

- ・種目によっては参加者がいないものもあったため、子どもたちがより参加したくなるような周知の方法やニーズに沿ったもの、地理的条件をクリアできる実施主体の確保が必要である。
- ・休日に学校の校舎内を使用する場合におけるセキュリティの解除や施錠問題を整理しておく必要がある。
- ・事業周知について、当課HPなどを活用し、より開かれた場所で行う必要がある。

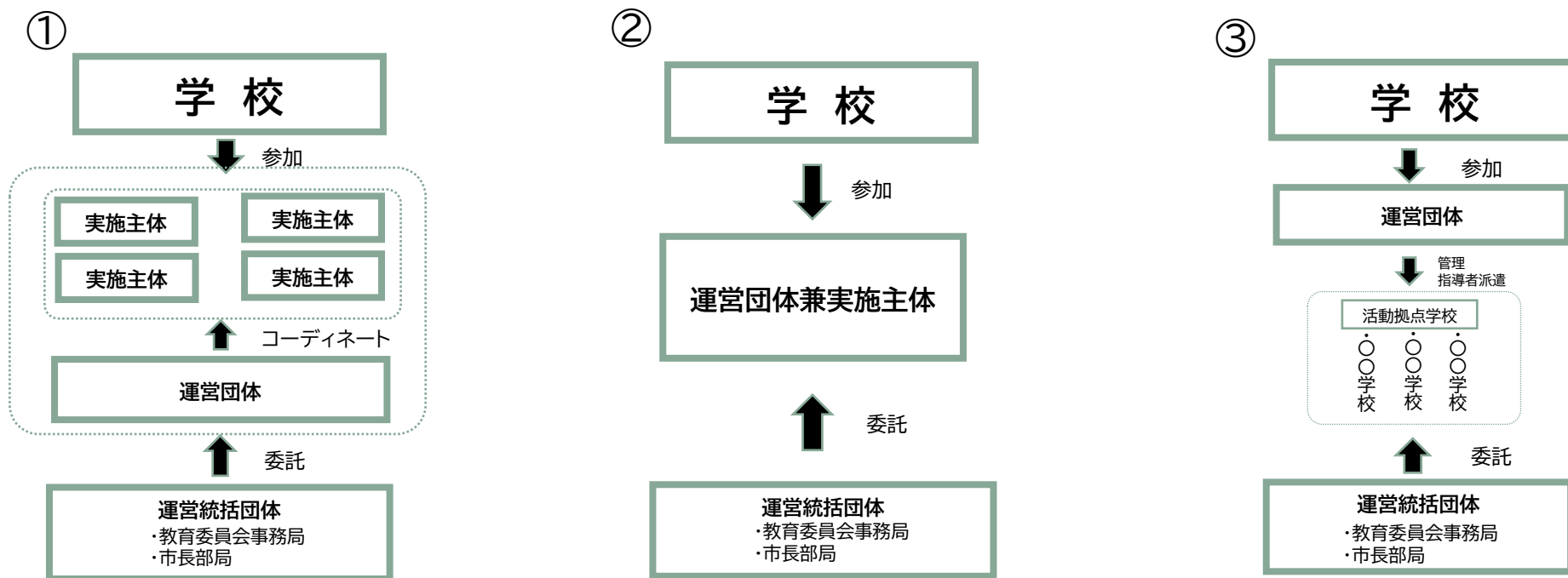
## ○実証事業における研究・調査について

- 複数パターンの運営方法の検討
- 対象団体の拡充
- スポーツ・文化芸術の多様な経験につながる仕組みづくり

## ○運営団体のあり方について(パターン例)

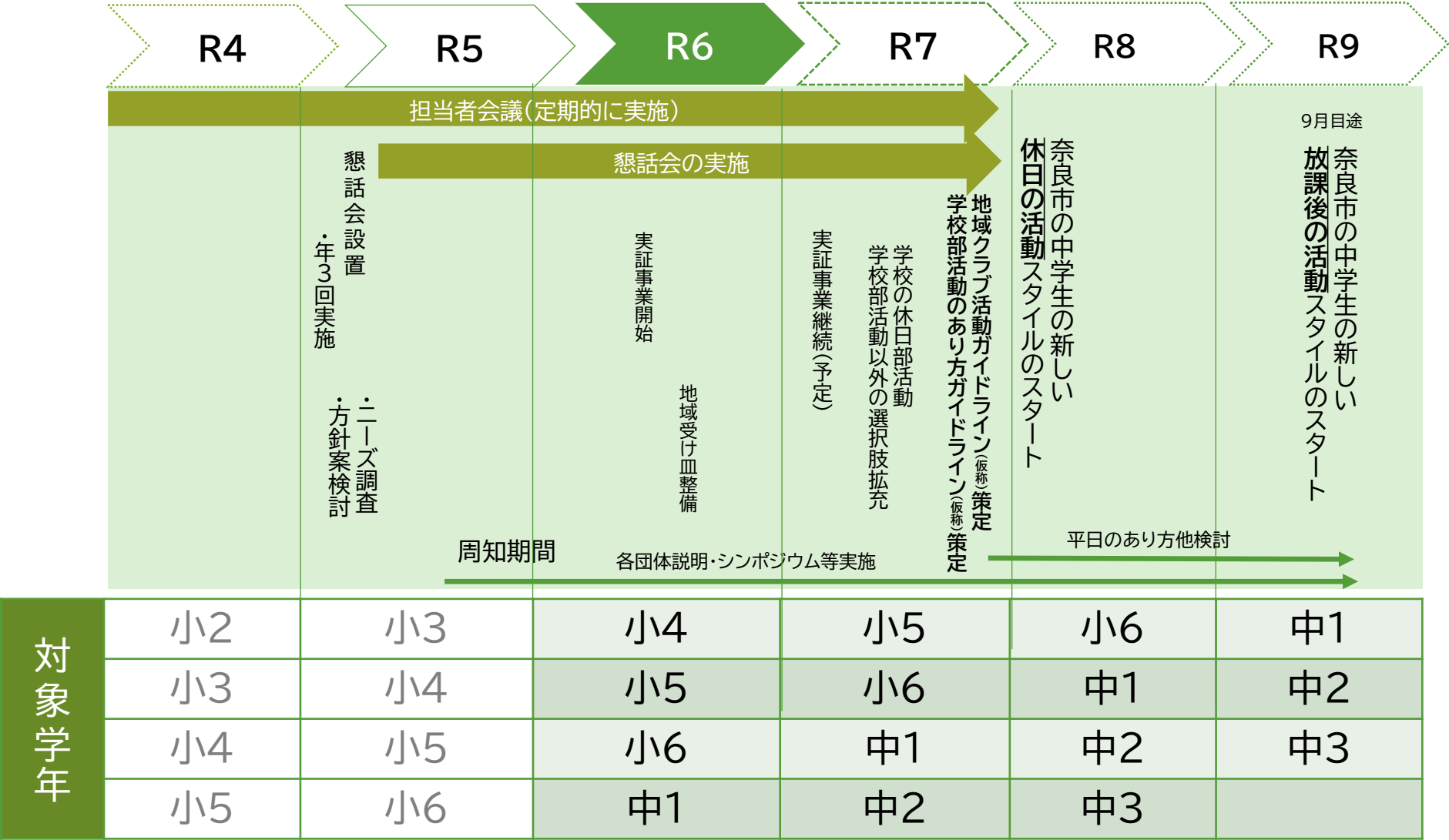
- ・ 現在調整中の団体や、新規で活動が可能な団体と緊密な連携をとり、さらに運営団体を確保していくことで実施地域を拡大していく。
- ・ 実施主体自体が運営団体を担うことも視野に入れ、多様で持続可能な活動の在り方を実証していく。
- ・ 種目の特性や地域性等を考慮しながら拠点校方式や指導者派遣方式等についても検討していく。

### ※(イメージ図)

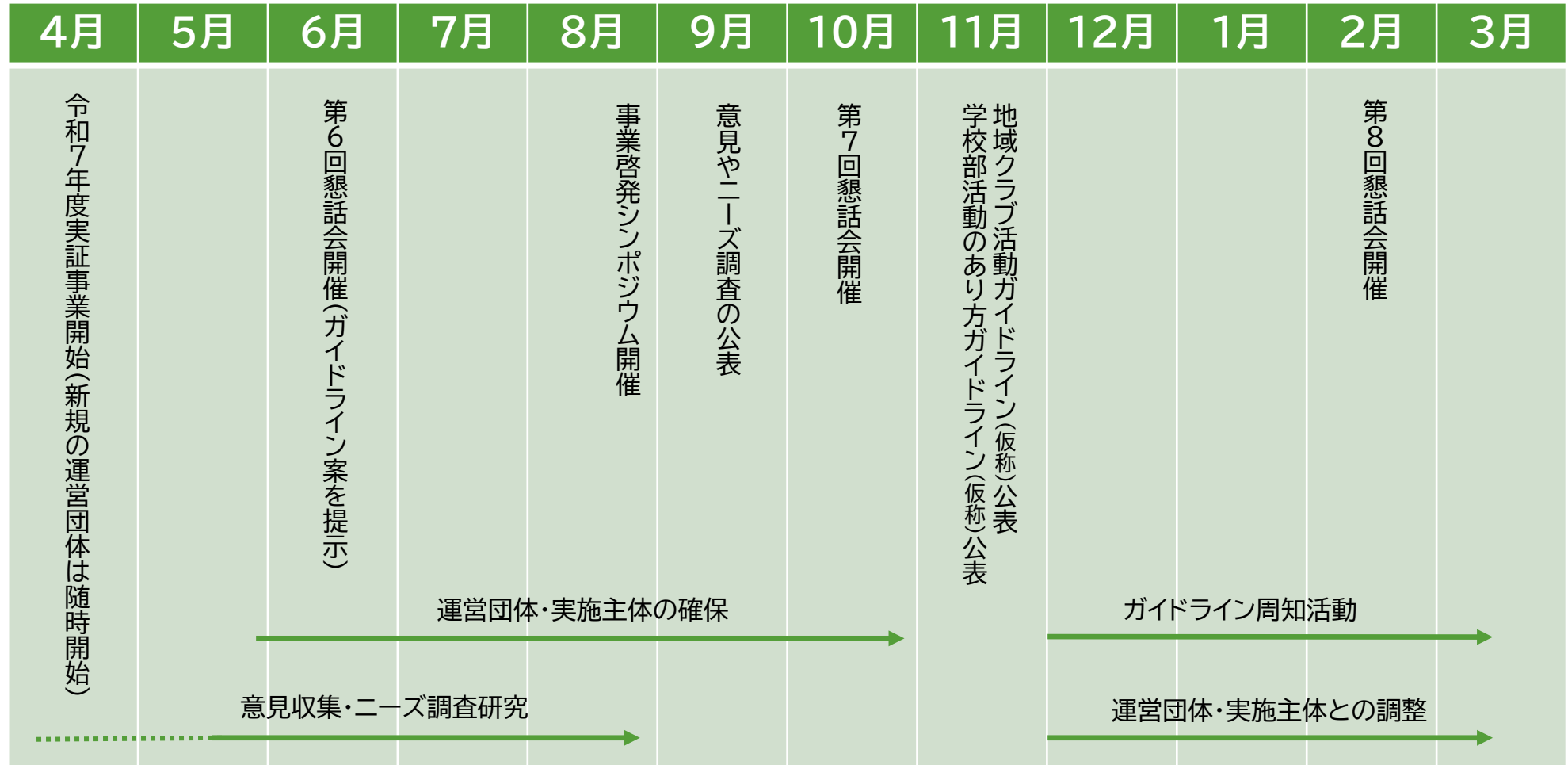


年次 部活動改革のスケジュール(案)

- 令和7年度末までに奈良市の部活動のあり方について、**休日、平日ともに新たな活動への移行を検討**する。
- 国 のスケジュール 令和7年度までに休日の部活動の地域展開(移行)を推進
  - 県 のスケジュール 令和8年度から休日における教員による学校部活動を廃止し、休日の部活動は地域クラブ等へ
  - 市 のスケジュール 国及び県の動向を注視し、休日はもとより将来的に平日の部活動のあり方についても検討



○懇話会等での議論を進め、**令和7年度中**に学校部活動の改革方針を策定する。



- ・ 実証事業を継続し、子どもたちが複線的に多様な体験ができる環境の整備を進める。
- ・ シンポジウムだけでなく、ワークショップを開くなど、子どもたちを含めた市民全体の議論になるよう周知の工夫と機会の拡大を図る。